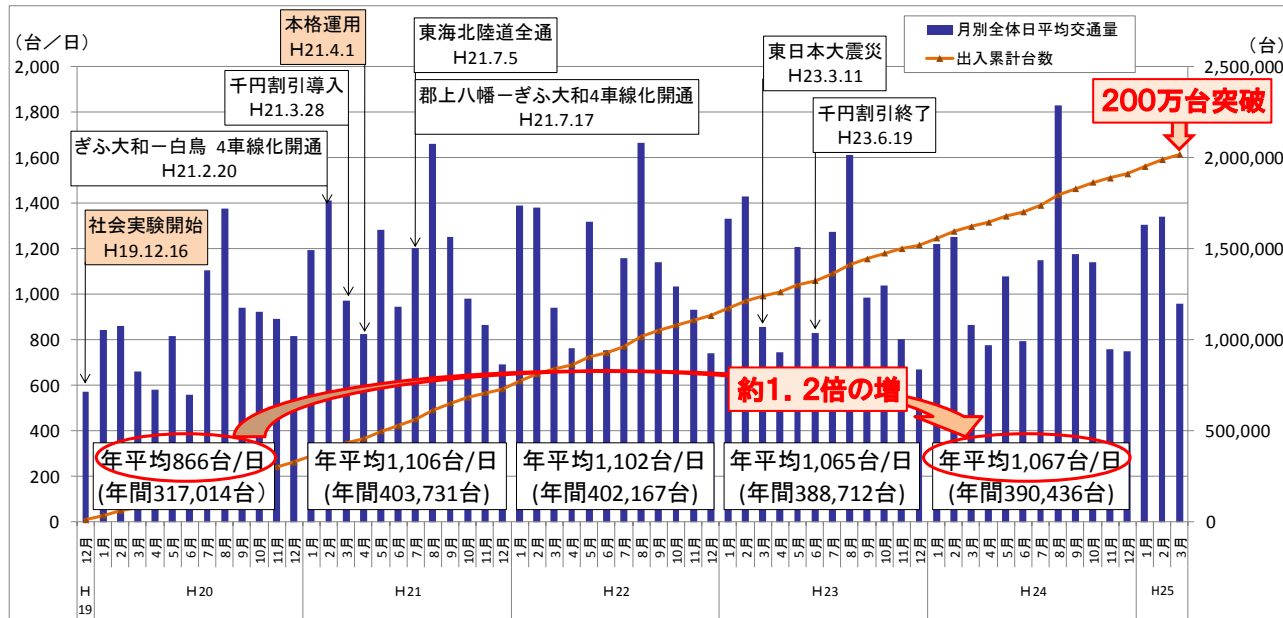


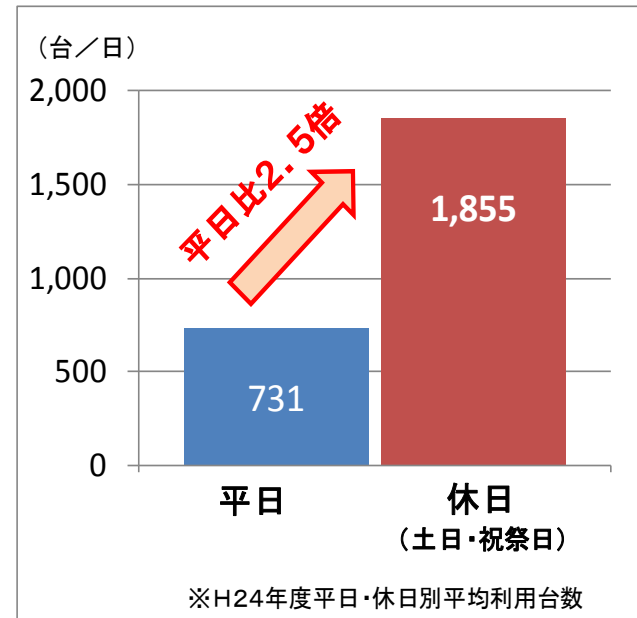
ひるがのスマートICの利用状況

- ・利用台数がH20年の社会実験と比較し**約1.2倍に増加**(H20:866台/日 ⇒H24:1067台/日)し、**累計で200万台を突破**(H24.3月時点)
- ・土日、祝祭日の利用が平日と比較して**約2.5倍**となっている。

■ひるがの高原スマートIC利用台数の推移



■平日・休日別利用台数



■スマートICの恒久化事業を実施

【整備前】



【整備後】

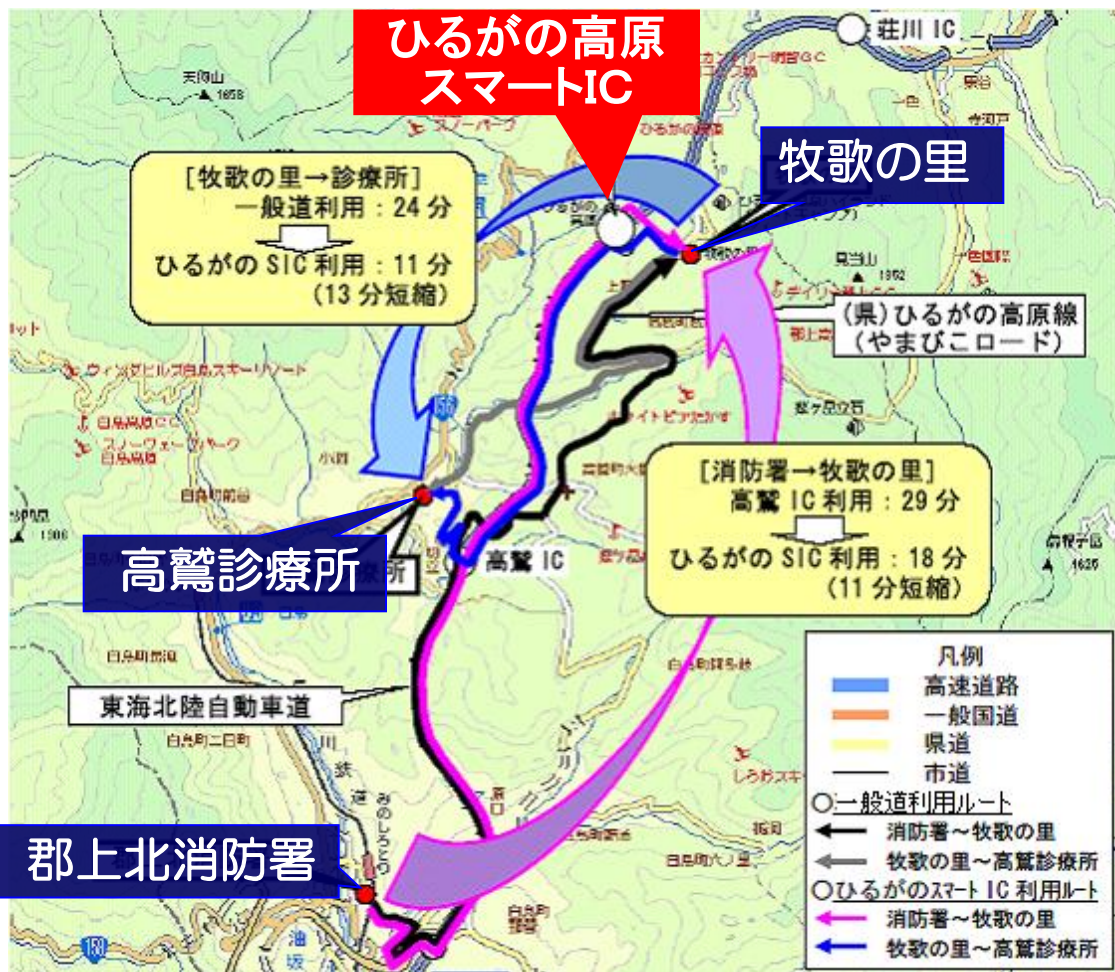


【恒久化事業の内容】

- ①車両検知器の精度向上化(けん引車両対応)
- ②機械室棟、料金所棟、自家発電気室を仮設から本設に改築
- ③案内標識の改良
- ④レーンマークの再塗装

- ・スマートIC整備により、**救急車の搬送時間が大幅に短縮**
- ・平成24年度には、**救急車のスマートICの利用が164台あり**、地域の救命救急に寄与

※社会実験開始 平成19年12月16日
 ※本格運用開始 平成21年 4月 1日



救急車到達時間

(郡上北消防署～牧歌の里間)

これまでは高鷲IC経由で29分
 →ひるがの高原スマートIC整備により
 所要時間は18分に
(救急車の到達時間が11分短縮)

最寄りの診療所までの搬送時間

(牧歌の里～高鷲診療所間)

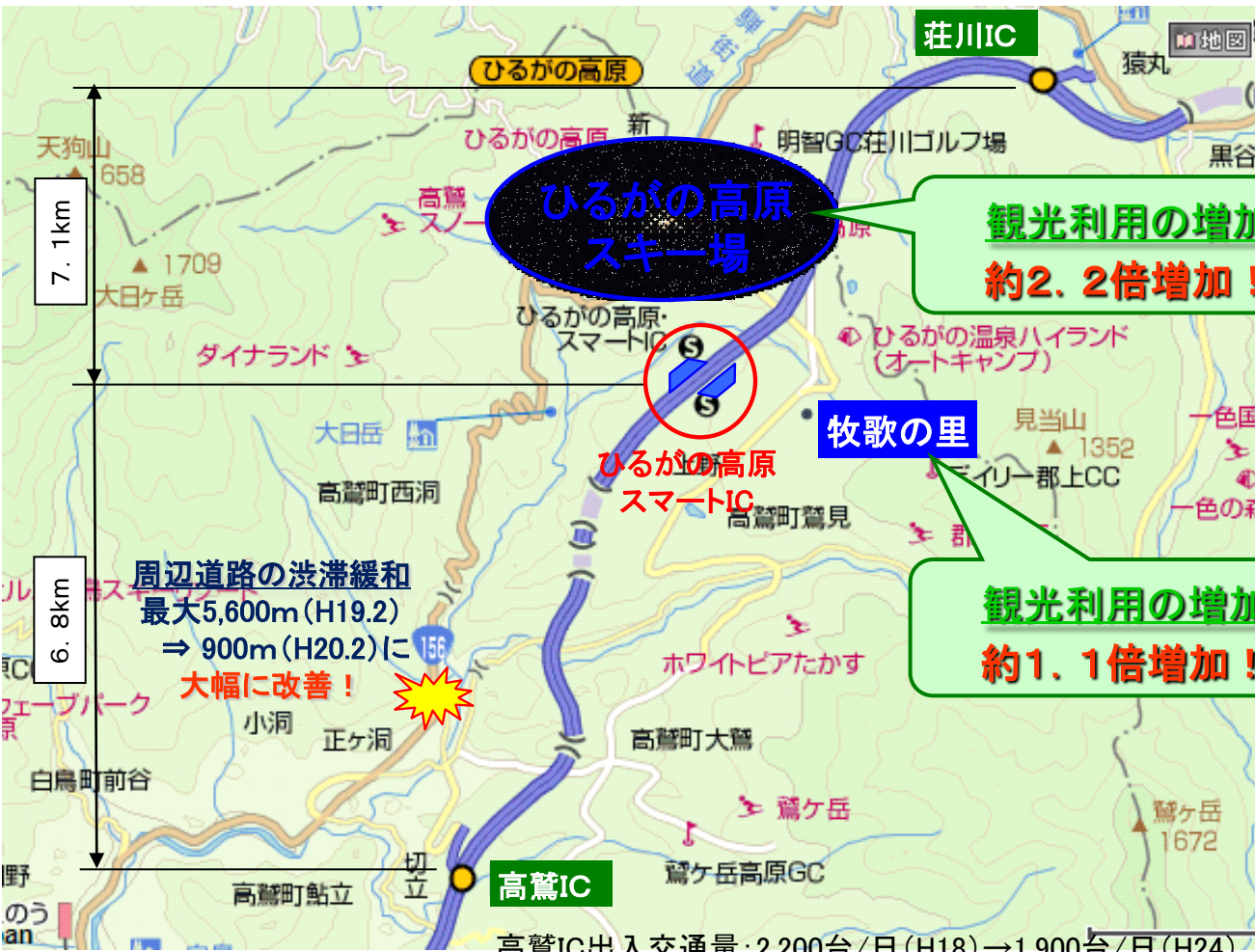
これまでは一般道で24分
 →ひるがの高原スマートICの整備により
 所要時間は11分に
(救急車の搬送時間が13分短縮)



整備効果事例(ひるがの高原SIC): 観光振興等に大きく貢献

※社会実験開始 平成19年12月16日
 ※本格運用開始 平成21年 4月 1日

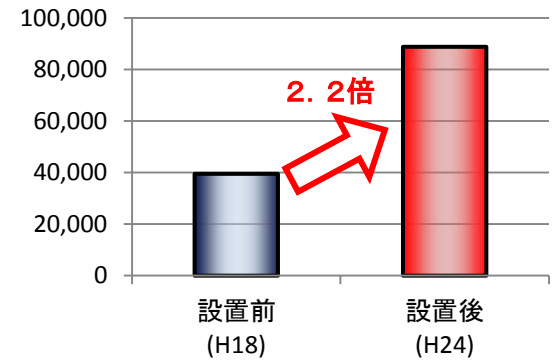
- ・スマートIC整備により、スキーシーズンの周辺道路の渋滞が緩和
- ・スマートIC周辺のスキー場(ひるがの高原スキー場)では、カーブの続く急な坂道を回避できる等、**利便性の向上により入込客が2.2倍に増加**
- ・スマートIC近隣の**観光地(牧歌の里)**において観光利用が**約1.1倍に増加**



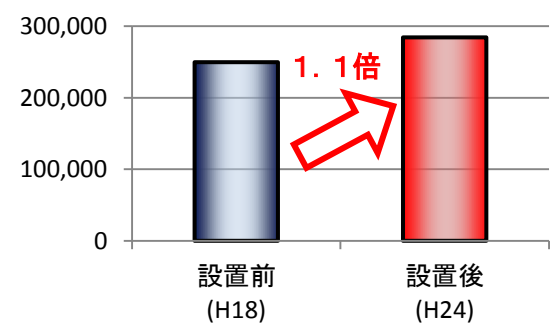
**観光利用の増加
約2.2倍増加!**

**観光利用の増加
約1.1倍増加!**

ひるがの高原スキー場利用者数(人/年)



牧歌の里※入り込み客数(人/年)



※牧歌の里: 花と緑のテーマパーク。温泉施設併設

高鷲IC出入交通量: 2,200台/日 (H18) → 1,900台/日 (H24)



観光施設の声(冬期スキーシーズン)

- 目指すスキー場により、ひるがの高原スマートIC及び高鷲ICを選んで利用することが可能となり大変便利になりました。
- お客様の声では、スマートICを利用すると、スキー場まで急な坂道が無く除雪もしっかりしていると好評です。(今後もひるがの高原スマートICを積極的にご案内します。)
- スマートICの存在も広く周知され、交通が集中する帰りの時間帯では、高鷲ICで渋滞が発生するとひるがの高原スマートICへ流れる車両が多く見えます。

意見・要望

- 一日も早い4車線化整備により、白鳥～高鷲間の渋滞緩和を期待しています。
- 4車線化整備により来場者が増えると思われ、今後に期待しています。
- スマートIC利用に関連する、ひるがの高原SAの収容台数拡大により渋滞を解消して欲しいです。
- スマートICアクセス道路の夜間照明及び冬期除雪の更なる充実を図って欲しいです。

観光施設の声(夏期行楽シーズン)

- 年間を通じて、東海方面及び北陸方面からアクセスが容易となり、更なる地域の活性化が期待できます。
- ひるがの高原SA自身も、白山を眺望できるロケーションを生かした施設整備・高速バスストップ整備や、地域の特産・加工品を数多く揃え魅力あるSAとして成長しています。
- 観光バスの周遊ルートにおいて、八幡・高鷲・ひるがの・高山・白川とICの利用が大変便利となり、バスの台数も増えています。
- 北陸方面からの来場者が増えています。
- 東海北陸自動車道の全線開通と東海環状道の整備により距離感が縮まり、三河方面からの集客も増えています。
- 東海北陸道全線開通と開通後の料金割引の影響もあり、ひるがの高原スマートICの設置は大きな集客効果をもたらしています。
- 2011夏のアンケート調査では、来場者の半数がひるがの高原スマートICを利用されています。(牧歌の里)

